

広島市植物公園

見どころ案内

アジサイ‘アナベル’

(アジサイ科)

北アメリカ産の園芸品種。白色の装飾花が集まり大きくなるのが特徴です。

スズランノキ (ツツジ科)

北米東部の原産で、スズランのようなランプ状の花をつけています。

ハリオツギと

夏の植物展

花の少ないこの季節に咲くアジサイの仲間を展示。ほかに見ごろの夏咲きの植物を展示します。屋外展示場にて開催。

アサガオのカーテン

(ヒルガオ科)
ツルが伸び、最上部まで到達しつつあります。
アサガオの1品種‘オーシャンブルー’です。

アガパンサス

(ユリ科)
梅雨の蒸し暑い中、薄紫の花が見頃を迎えています。

冬虫夏草展

6/17(土)~8/17(木)
中国で古く「冬は虫として動き回り、やがて夏になれば草(キノコ)に変わる不思議な生き物」と思われていた、昆虫やクモなどに寄生するキノコの仲間の標本や写真を展示しています。

水琴窟と苔庭

茶室前の水琴窟と13種類の苔を展示しています。

ゾウコンニ

ヤク (サトイモ科)

東南アジア~オーストラリア原産。花は終わっていますが、高さ・幅とも2mほどの巨大な葉を繁らせています。

大温室改修のため休館中

リニューアルオープンは平成29年秋ごろです。(予定)

ハス (ハス科)

インド原産多年生水生植物。白や桃の花が咲き始めました。環境の変化により個体数が減少しています。

巨大ハンキングバスケット

白いカラジウムを基調にして、ペンタス、オカメツタを組み合わせ、夏バージョンに仕上げました。

日本ハンキングバスケット協会
ハンキングバスケットマスター作

